

(N01)

研 修 報 告 書

令和 5 年 11 月 10 日

長浜市議会議員 様

長浜市議会議員 大橋延行



私が出席した次の研修の結果について報告します。

記

1. 研修名 令和 5 年度 全国市議会議員会研究フォーラム施設研修
2. 研修日時 令和 5 年 10 月 25 日 (水) ～ 10 月 26 日 (木)
3. 研修場所 北九州市小倉
4. 研修テーマ 統一地方選挙の検証と地方議会の課題について
5. 講師 片山善博
6. 調査内容感想等

・研修の目的

全国市議会議員会の主催する研究フォーラム 統一選挙の検証と地方議会の課題に参加し、長浜市をはじめ全国の地方自治体で課題とされている様々な事案について学び、今後の長浜市政に反映させたい。

・研修の内容

(1) 基調講演

「躍動的でワクワクする市議会に」と題する講演を片山 善博氏が以下の内

長 浜 市 議 会

容にてなされた

躍動的でワクワクする議会にするためには、①緊張感をもって当局と向き合うこと。②当局が提案する議案をすべて認めることがどういうことか、また議員としての責任は何たるかを考えることを今一度問われ、判断議決をするという行為の大切さを指摘された。

県の行政に関わった経験から当時議会でのエピソードを交え講演され、現在の地方議会に与えられた権限の大きさを認識して、取り組める事案と取り組むべき事案をしっかりと研究し勉強すべきである、また議会の常識と市民の常識の乖離を認識すべきであり、その差をしっかりと埋める努力が必要であると指摘された。

パネルディスカッションでは4名のパネリストが、様々尾取り組みについて報告され、統一地方選挙を振り返った総括の後、地方議会の諸課題について議論された。人口減少社会の影響が地方議会にもたらすもの諸課題、議員のなり手不足・ハラスメントの実態・議員の資質等といった内容であった。

・研修の結果を本市にどのように反映させるか

本市においても、基調講演・パネルディスカッションで議論された諸課題が当てはまると考えます。市民の方から求められている議会になるため、正確な情報データをもとに、方向性をしっかり見定めることと、市民と議会の常識の乖離がないように、議員各々が肝に銘じ取り組んでいかなければならない。

地方議会の二代表制としての理想は議員活動に専念できる議員专业化であるが、現在では、議員報酬・ハラスメント・慣例等を含め若い方が議員になりたいと考えるには厳しい環境であることを認識し、改善に向けて取り組みたい。

(N03)
